

令和6年度(後期) 運営推進会議の報告事項

出席者：包括支援センター職員、地区民生委員、利用者家族、地域密着型通所介護の知見者、利用者

1. はじめに

- ・松原湾のし尿処理施設の工事にもなう騒音、交通障害が出ている。
- ・3月中に職員1名からコロナ発症、職員の家族にノロウイルス発症となっていたが拡大なく終息する。今後も気を緩めことなく予防対策に努めていく。

《議事内容》

2. 事業運営状況

○利用実績状況報告

- ・別紙参照

*3月以降の利用減の原因として、複数利用の方が入院、入所、定期的な体調不良者の定期的なショート利用となっている状況を説明

○行事

- ・別紙、デイサービス便り(毎月発行)を使っての説明

*ミニ運動会、紅葉ドライブ、クリスマス会、節分・雛飾り七夕会

○苦情・相談

・相談ケースとして、利用者が他の方に服を買いあげようとしたが、その前に職員が発見し、ご家族に相談したところ、必要ない物なのでデイに寄贈された。

*今後の対応として、利用者同士で物のやり取りがないように注意、対応する。

○事故

・入浴後、看護師が爪切りを行い、右第3趾を誤って皮膚を傷つけ出血させる。

*圧迫止血後に看護師とともに受診、その後、感染の様子は無く完治。市への事故報告。

・午睡後、一瞬離れた時に車いすから床に滑り落ちていた。外傷、打撲なし。

*車いすクッションの仕様変更、その日の状態で見守りを徹底、転落防止する。

○ヒヤリ・ハット

・冷たいお茶を希望、コップの中に入っていた氷を口に入れようとしていた。

・座席から押し車に移ろうとした時に押し車が傾き転倒しそうになった。

・トイレ誘導時にアームレストが上がったままの状態になっていた。

・トイレのスライドドアでバランスを崩し転倒しそうになった。

・手を洗うためにのせたソープを口に入れそうになった。

・おやつ時間、痰が切れない状態で前傾姿勢となった状態で発見した。

*常に何かを起ることを予測し、全体及び個々で細心の注意を払う。

○職員関係、委員会

・各種委員会を開催。BCP業務継続のための研修、訓練を実施した。

3. その他

- ・来年度の新体制について、組織図を使って説明する。

令和6年度 運営推進会議録

令和7年3月24 11:00～11:50

場 所：相談室

出席者：包括支援センター職員、地区民生委員、利用者家族、地域密着型通所介護の知見者

【利用者からの感想】

- ・ いろいろな事を考えてやっておられるので楽しみです。食事も美味しいですし、休まずに来ています。

【各委員からのご意見、感想】

・ 利用者家族

92歳母親の介護を仕事しながら看ていますが、朝夕も留守をしても鍵を開け閉めしてもらい、ベッドまで丁寧に対応してもらっているので安心しています。

・ 地域住民代表

以前はよそのデイサービスに行っていた方も近くにある松原のデイサービスに行かれている。顔見知りの方がいるデイサービスの方を喜ばれている。

・ 地域密着型通所介護の知見者

最近の高齢者の状況は体調不良や施設入所が増えている。ケアマネも段々と不足してくるようになってきているがデイサービスの閉鎖も聞くことがある。デイサービスまつばらが続けて行かれる方のお話も聞くことで選ばれていると思います。職員の方がなかなか外の研修にも行けないため、無料で発信しているケアサプライを勧めます。

・ 浜田市包括支援センター

半日のデイサービスを希望される方も多くなっているが、本来支援の必要な方は食事や入浴のできる1日のデイサービスが必要と思われる。

【総評】

- ・ デイサービスを運用していくためには、人材の確保が第一、そして適切なケアの提供、特色あるデイサービスに、利用者の楽しみと満足感となるようにしていく。新体制となっても選ばれる事業所、存続できる事業所となるように努めていきます。